



STOP! 介護崩壊 介護ウエーブ推進ニュース —介護ウエーブの“Big Wave”をおこそう!—

シンポジウム企画等で、地域に「介護改善の声」を届け共同した取り組みを確認しよう

京都介護ウエーブ「介護保険の改善を願う関係者のつどい」(京都)

今、介護労働者自らが立ち上がろう! 終了後、市役所前までデモ行進

11月23日(日)午後1時30分より、同志社大学新町校舎の尋真館を会場に11・23 京都介護ウエーブ「介護保険の改善を願う関係者のつどい」が、京都府全域から230名を超える参加者で開催されました。記念講演には、厚労省の社会保障審議会介護給付費分科会委員でノンフィクション作家の沖藤典子氏をお招きしてのつどいとなりました。

沖藤氏は厚労省内部での介護報酬改定に関する論議の状況や、介護に効率化を求める審議会を批判し、今反撃する時「ピンチはチャンスだ」と約90分講演されました。講演では原点に帰れ、介護保険と話され、①介護の社会化は、「家族を介護地獄から解放する」ものであったはず、②介護は高齢者の自立支援であったはず、③施設から在宅といったはず(なぜ居宅に厳しいのか)、④低所得対策を忘れないと言ったはず、⑤介護労働は新しい雇用対策と言ったはず、と強調し、最後にこのピンチから掴むチャンスは「人材難の解決「生活できる賃金」・生活援助を削ってはならない・介護福祉予算を削ってはならない等々に触れられ、今、介護労働者自らが立ち上がろうと講演されました。

21 老福連の実態調査報告・実態リレートークに続き市役所前までのデモ行進でつどいを締めくくりました。

○ 京都市介護保険料 来年度から値下げ

京都市は来年度に改定される65歳以上の介護保険料を現行より260円値下げする見通しを市議会の中で表明しました。京都市の介護給付費は、この3年だけでは165億円の剰余金となり、過去の赤字分を差し引いても32億円の剰余金となっています。今まで、社保協介護保険プロジェクトの保険料値下げの申し入れに対して、市は「慎重に検討したい」としていました。



(京都民医連 週報 No.47 2008.11.25 より)

70名の参加で「介護ウェブのつどい」開催（山形） 介護という仕事が好きだから介護の仕事が続けてきた



山形県民主医療機関連合会主催の介護ウェブのつどいが 11月 22 日、山形市保健センターで開催され、介護従事者など 70人が集いました。

福島県立医科大学公衆衛生学教室の安村誠司教授が、「介護予防事業の評価と今後」と題して講演、介護保険事業の焦点でもある介護予防の問題を詳細に講演、あらためて介護の重要性、とりわけ予防の意義について学ぶことができました。

後半のリレートークでは、井田智氏（山形虹の会）をコーディネーターにして、峯田幸悦（ながまち荘）・斎藤幸子（県介護福祉士会）・川村一章（至誠堂総合病院）・門間恭子（至誠堂ヘルパーステーション）の各氏がそれぞれの立場から介護現場の現状を報告しました。

フロア発言では介護事業の現場で働く青年職員から積極的な発言が相次ぎました。鶴岡協立リハビリテーション病院の上田智津美さんは「介護報酬が低く低賃金にあえいでいる。要介護者はますます増え、厳しい介護の現状について国は実態を把握すべきだ。理想と現実の違い、低賃金などからやめていく人が多い。でもやっぱり利用者の笑顔が好きだから、介護という仕事が好きだから介護の仕事が続けてきた。介護報酬、介護制度を改善し、介護労働者の心の励み、支えにしていきたい」と発言、会場の参加者から共感の拍手が起きました。

つどいは「安心できる介護を求めて力を合わせましょう」というアピールを採択して終了しました。（2008年11月26日 山形民医連事務局 守岡さんより）

「11・26国会集中行動」50名を超える参加（全日本） 介護改善「新署名」で議員要請行動 - 介護関係者12名参加 -

11月 26 日（水）10:30～13:00、国会集中行動を行い、介護関係者が 12 名（山梨 3 名、東京 7 名、兵庫 1 名、福岡 1 名）参加しました。中央社保協等の他団体と共同した集中行動で、民医連独自の取り組みとして、「後期高齢者医療制度廃止法案の可決を求める署名」と「介護改善新署名」で議員要請行動を行いました。

兵庫から参加した介護福祉士の山下久実子さん（宝塚医療生協デーサービスひだまり）は、全体会で高橋千鶴子議員（衆議院）、議員要請行動の後に行われた国会前座り込み行動で、“お民さん”の姿に変装（右写真）し、佐々木憲昭議員（衆議院）に 3,970 筆の署名を手渡しました。

議員要請行動では、「介護 1000 事例調査報告書」も持参し、対応した議員秘書から「ぜひ読みたい」「質問の参考にしたい」等の反響がありました。

今回は、12月 17 日（水）10:30～13:00 に、「後期高齢者医療制度廃止法案の可決を求める署名」の取り組みと共同した、「12・17 国会集中行動」を行います。「介護改善新署名」の紹介議員を 1 人でも多く増やし、介護改善の賛同を訴えていきたいと思います。



お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp